

大手前病院 脳外科

患者様向け治療説明会のご案内

- ・パーキンソン病、ジストニア、振戦に対する脳深部刺激療法（DBS）
- ・神経障害性疼痛に対する脊髄刺激療法（SCS）
- ・痙縮（けいしゅく）に対するバクロフェン髄注療法（ITB）

について患者様ご家族様向けの治療説明会を開催します。
患者様の疾患に対する上記治療法の概要、効果について
わかりやすく説明いたしますのでお気軽にご参加ください。



個別面談形式での開催ですので右のQRコード

若しくはFAX用申込用紙記入の際にご選択ください。

申込みQRコード

日時：2026年1月24日(土)
13時30分～
1組につき30分の予約制

場所：大手前病院
2階 脳神経センター外来
(有料駐車場有)

参加費：無料

定員：6組
(個別面談形式)

講師：大手前病院脳神経外科
部長 圓尾 知之先生



**お申込みは別紙申込書を記入いただき、FAXまたはメールでご予約ください。
(定員充足となりましたら、別日程をご案内させていただく可能性があります)**

====お問い合わせ・お申込み====

〒540-0008

大阪府中央区大手前1丁目5番34号

大手前病院 脳神経外科 圓尾 知之

TEL : 06-6941-0484(代表)

FAX : 06-6942-2848

(別紙申込書をFAXまたはメールで送付)

E-mail : t-maruo@otemae.gr.jp



以下のような症状にお悩みの 患者さんにご参加をおすすめします

パーキンソン病、振戦、ジストニアに対する 【脳深部刺激療法】

- 手足のふるえが強く、日常生活が困難である
- お薬の副作用が強くて思うようにお薬が飲めない
- 薬の効果がとぎれて動きにくくなる時間帯がある



パーキンソン病、振戦、ジストニアと診断されて間もないが、
今後のために手術療法についても知りたい患者さんにも

神経障害性疼痛の慢性の痛みに対する 【脊髄刺激療法】

- 手術後に持続する痛み
- 手、足、腰、背中などの部分的な痛み
- 触るだけで痛い、または焼けるような痛み

CRPS（RSD/カウザルギー）、術後疼痛、
脊椎・脊髄疾患など・・・



痙縮(けいしゅく)に対する 【バクロフェン髄注療法】

- 体に締め付け感や痛みがある
- 歩行・着替えなどが行えない・行いにくい
- 思うようにリハビリテーションが行えない

脳卒中、脊髄損傷、脳性麻痺などの脳や
脊髄の病気やケガの後遺症としてみられる
症状など・・・



それぞれの治療法でお悩みの症状がよくなる可能性があります。

紹介状がなくても大丈夫です。

ご家族様のみの参加も可能ですので、ぜひお気軽にご参加ください。